採れたて!!

わかごぼうニュース

No.33

発行　2016年12月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-201
TEL:072-999-7900

いつか訪れるその日のために

一年前にわかごぼうから次のステップとしてアルバイトを始めた参加者がいます。残念ながら、あと2ケ月で勤務先が消滅することになり、今後について悩んでいました。

「次に行くべきなんでしょうけど、正直違う職場で働くのは怖いんですよ。」

「でも、いずれ無くなるで。」

「そうなんですけど。踏ん切りがつかないっていうか。」

「私も他人様の事言える状況じゃないですけど、時間が必要な場合もありますもんね。」

「踏ん切りつけるにはこれ以上ない状況だと思うけど?これ逃したら次はいつになるの?ん?」

「お?いや、そうなんですけど。」

「自分と向き合って本当に行きたいところに行けばいいやん。」

「本当はけっこう甘々な環境で働きたいんです。怒られると感情を抑えきれなくなりそうで。」

「ノーミスならどの職場でも怒られないと思うけどな。」

「ははは。そうですね。でもまぁ、それは無理でしょう。ノーミスなんてどこの職場でも無理ですよ。」

「最終的にどうなりたいのか明確なビジョンがいるのと違う?」

「目的地を決めてからルートを選ばないと決まらないわ。」

「ビジョン次第では職業訓練とかもありやな。その場合、収入面で厳しくなるかもしれないから親と相談が必要になると思うけど。」

「それは、言い出しにくいっす。」

「親としては子が悩んでいる時に相談してくれないのは悲しいと思う。頼ってくれるのを待ってると思うよ。力になりたいはずだもの。」

「自分の子が何を考えてるのかわからないってのは親として一番辛いんじゃないのかな?」

「答えが出なくても、親とはきちんとこれからを話しておいた方がいい。どう考えてるのか、わかれば応援してくれる目もあるから。」

「そうか。…そうですね。」

「たぶん、今が分岐点やと思う。みんないつかその時がくるねん。」

卒業生は頷き、他の現役生も自分の番を想定して、身を引き締めていました。

わかごぼうは 失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけたい。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのことを学べるから。

見た目にもこだわる意識を

久しぶりの丼もの研究。第二弾は予定メニューを変更してカツ丼です。個別で作るとかなり時間がかかると経験者から指摘があり、今回は全員で作ることになりました。意外にトンカツを揚げた経験者が多く、未経験者2名に教える展開に。余った経験者はサラダと赤だしにそれぞれ回ってもらいました。

ウラもあるよ

八尾市社会的居場所事業 わかごぼうに来ませんか?

☆参加対象になる方

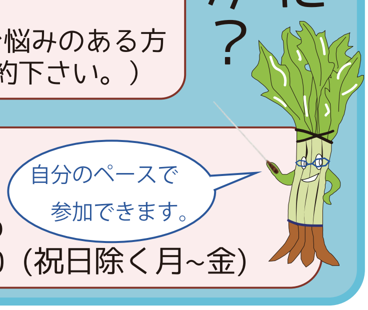
「自分なりの社会参加の実現を考えたい」と望まれる方で次のうちひとつでも当てはまる方

◇6ヶ月程度、就労や訓練・試験勉強等から遠ざかっている自分を変えたい方
◇少人数の会話から話すことに慣れて自信を持ちたい方
◇行動範囲を広げるきっかけや家族以外の人と接点を持ちたいと望まれる方

※また、家族・親族のことでお悩みのある方もご相談いただけます。（ご予約下さい。）

開催時間：毎週木曜日13:00-15:00
開催場所：わかごぼう
　八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ＆参加申込み
電話：072-992-6921
✉：wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：10:00-17:00（祝日除く月~金）



わかごぼう

割るのは一瞬。でも作るのは…

引退式に向けてピニャータを作ろうと提案しました。

「何してんの?」「え、新聞を読んでいます。」「読むんじゃなくて切るんでしょ。３㎝四方に。」「空いてる時間を使ってピニャータ作るんやろ!間に合わんくなるで。」ツンツンしながら二人でチョキチョキ切りました。次は風船で型作りです。

「風船膨らませるの嫌やなぁ。頭痛くなるもん。」「風船だけじゃダメなんですよ?」

「紙を水のりで張るんやろ?」

「もう、わかってないなぁ。」

「は?わかってない言われた。」

「はいはい、もうケンカしない。」

いざこざを収めたら次は小麦粉を水で溶いて刷毛で塗っていきます。

「こうしてどんどん出来上がっていく。」

「のりは?ちゃんとくっついてんの?」

「ついてるよ。多分ついてるよ。きっとついてるよ。もう、適当にやったらいいねん。」「まぁまぁ落ち着いて。乾くのかなり時間かかりそうね。」

「何日もかかりますね。だから今日中には無理って言ってんでしょ!早く次の風船割らずに膨らませてよ。」ピリピリとした、いい緊張感です。

「ところで、ピニャータって何?」

「紙製などのポットにお菓子とか入れて割る、おまじないの薬玉です。」

「なるほど引退式で割るわけね。」そして、いよいよ完成が近づき「なんか重い。紙を重ねて貼るから重たくなるし転がるし、ピニャータの心折れ感がハンパないんですが。」「あの、これ完成させないといけないんですか?」「自分で言い出したんやんか。」

「言いださなければよかった。ああ、イメージと違ったなぁ。もっと簡単だと思ってた。」「文句言いながらもやり遂げる責任感は立派やと思うわ。だから、黙って手を動かそうか。」

わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。

ふーん

是非次号もご覧ください

場の空気を読んで話すゲーム

その日は参加者が多く、自然とみんなでカードゲームをすることになりました。

「次、あれしましょう。ピンチをカードで切り抜けるやつ。」「それって、チョコレート?」「そうです。前やった時、面白かったんですよ。」「あれ、どんなルールやったっけ?」「えっと、まず2チームでのチーム戦です。まぁ、最後まで自分の所属チームはわからないんですけど。」「で、アイテムカード3枚を持ってピンチカードをめくります。カードの裏に必要なアイテム数が書いてあるのでその枚数分のアイテムを使ってピンチを切り抜けるストーリーを話すんです。」「他の人がその話でピンチを切り抜けられたか判定してOKなら得点できます。使ったアイテムカードは場に流して同じ枚数分を山から引いてターン終了。次の人に順番が移ります。」「ピンチカードをめくってENDカードが出ればそこで終了。チームの合計ピンチカードの枚数が多い方が勝ちです。」「なるほど。これって成否判定を他の参加者に委ねることになるから、場の空気にあった話をするってのが最大のポイントやな。」「そうですね。じゃあ、最初のカードめくりますよ。」

ゲームが始まるとピンチに対して解決、回避、受け止めて心の平静を保つなど、様々なアプローチがあり、結果は同じでも言葉の選び方によって、与える印象が違うなど新たな発見がありました。

どの設問にも明確な答えはなく、判定者の心情に沿った解答を瞬時にまとめないといけないので難易度は高めです。今回は身内の不幸と体調不良関連の解答は納得を得やすい傾向でした。ちなみに解答に窮すると微妙な空気と沈黙が流れます。

「誰だ!こんな空気になるようなゲームしようとか言ったのは!」「君や、君。言わせせんな。」今日もみなさん仲良しですね。

畑の中で昆虫採集をしよう

・恒例の早朝農園清掃に参加しました。相変わらず朝早くから来る人が多く、私が開始予定時間に行ったときにはほぼ完了していました。雑草を抜き終えてから、私はハクサイの虫探しをしました。アオムシ４匹と蛾の幼虫となめくじを発見しましたが、虫がいたことを報告するだけです。処理しないと食害被害が減らないのはわかってますが、あまり虫を触りたくないのと虫の処理に抵抗があるのです。なので、全て他の参加者にお任せしました。

・畑でハクサイの葉っぱに隠れているアオムシの駆除をしてきました。前日に他の参加者が駆除したと聞いていたので、もういないだろうと思っていたら一緒に探しに行った参加者が２匹見つけました。自分も見つけたくなり探したけど、見つからず残念でした。

・今日はアオムシ捕りに行きました。アオムシを見つけるコツは糞があるところをポイントに調べることです。アオムシに触った感触は、もっとグニャグニャしたものを想像していましたが、冷たく滑らかな感じでした。

食害を減らすことで畑の野菜が順調に育ってばいいなと思いました。

これからのわかごぼう

来月のわかごぼうでは、いよいよ、参加者がそれぞれの進路を示す引退式が行われます。畑では十分に育ったハクサイ・ジャガイモ・ニンジン・ホウレンソウを収穫します。一部は鍋企画に活用される予定です。他にもテーマトークやボランティア、正月らしい書初め企画や親睦会なども予定されています。

行きたい時が参加時。最初の半歩がここにある。八尾市社会的居場所事業わかごぼう新規参加者募集中です。

各イベントは天候や参加人数により延期や中止の場合があります。